

2017年1月

長期滞在型・ロングステイ観光学会 分科会募集のお知らせ

長期滞在型・ロングステイ観光学会事務局

1. 分科会制度の概要

長期滞在型・ロングステイ学会では、国内及び国外における長期滞在型観光に関する学術研究の向上と社会に対して広くロングステイの普及促進を図るため活動の分析・把握を目的として、研究グループを組織して活動する分科会を募集します。長期滞在型観光・ロングステイにかかわる様々なテーマが設定可能で、希望する分科会には審査のうえ研究助成金が交付されます。また助成金がない場合でも、学会が公認する研究グループとして分科会名を使用していただけます。採択された分科会名はホームページなどで会員に告知し、テーマに興味のある会員が、分科会が開催する勉強会や研究会に参加し、会員間の交流の場となることが期待されます。会員の皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

2. 公募の期間

2017年2月28日（火）（必着）

3. 分科会テーマ例

分科会テーマの設定は、長期滞在型・ロングステイ観光にかかわるものであれば自由です。

以下はその一例です

①「地域ごとのロングステイ研究会」、②国内ロングステイと地方創生、③「海外ロングステイ経験者のテーマ別調査」、④インバウンドロングステイの情報整備、⑤国内ロングステイの宿泊施設条件等の研究会、⑥「ロングステイを成立させる基盤」、⑦「ロングステイと旅行医学」、⑧「ロングステイのルーツとしての湯治」、⑨「ロングステイ統計の分析」
等

4. 公募のタイプ

①助成金あり

申請書の審査を行い理事会にて採択分科会を決定します。助成額については下記をご参照ください。

②助成金なし

分科会テーマが本学会の目的に沿うものか、簡単な審査を行い理事会にて決定します。

5. 応募資格

会費を納入済みの会員であればどなたでも応募できます。分科会の代表申請者は、会員である必要がありますが、他メンバーは非会員でも構いません。分科会の最小構成単位は2名からとなります。また、複数の分科会に代表申請者として応募することはできません

6. 応募方法

分科会応募を希望の方は、長期滞在型・ロングステイ観光学会ホームページから申請書の入力フォームをダウンロードし、必要事項を記入の上、学会事務局までメール添付で提出してください。

7. 活動の期間

活動期間は2017年4月から2018年2月末を予定しています。分科会活動は単年度ごとの申請を基本としますが、継続したテーマで毎年応募していただくことも可能です。

8. 助成額と使途

1件あたりの助成金の上限は10万円です。応募グループ数や研究目的などをもとに検討し、各分科会への助成額を理事会にて決定します。助成金の使用目的は、会場費、講師謝礼（学会員及び分科会メンバーに対して謝礼を払うことはできません）、交通費、資料制作・印刷費およびその他研究遂行上必要な費用です。なお、3万円以上の備品の購入は認められません。各年度の2月末日までに事務局へ証票書類を伴う会計報告書提出してください。助成金は年度末に一括してお支払いします。

9. 活動成果の発表の義務

採択された分科会は、学会ホームページにて公開します。各分科会は、2018年2月末または3月に開催予定の全国大会における分科会報告セッションにて研究成果を報告してください。あわせて全国大会時に配布される論文集に掲載される報告書を作成してください。報告書の分量は以下となります。

① 助成金あり A4版で4ページ以上（フォーマットについては後日お知らせします）

② 助成金なし A4版で2ページ以上（フォーマットについては後日お知らせします）

また、①助成金ありの分科会は以下のいずれかの方法で中間経過を報告してください。報告時期については採択後お知らせします。

- ・ 会員に事前告知を行ったうえでの公開発表会の実施
- ・ 中間経過報告書（様式自由）の提出

なお助成金ありの分科会が研究成果を公表・公開する場合は、長期滞在型・ロングステイ観光学会分科会助成金を受けた旨を明記してください。なるべく分科会活動に参加希望の会員が広く参加可能な研究会などを積極的に実施していただくことをお願いします。

9. 審査

応募された分科会は、担当理事・幹事による審査委員会の選考を経て、理事会にて決定されます。審査の以下の4つの評価項目について行います。審査委員会に応募者（助成の申請者やグループの参加メンバー）は加わることはできません。理事ほか役員が応募する場合も同様です。

| |
|--|
| ① テーマの新奇性と独創性 |
| <ul style="list-style-type: none">● 取り上げるテーマが長期滞在型・ロングステイ観光に新たな視点をもたらすものであるか● テーマの着眼点またはアプローチがオリジナリティに富むものか |
| ② 研究の有効性 |
| <ul style="list-style-type: none">● 研究から得られると想定される知見が、長期滞在型・ロングステイ観光の普及や学術的研究の深化に貢献することが期待できるか |
| ③ 研究計画の妥当性 |
| <ul style="list-style-type: none">● 研究を遂行するにあたり十分な実施体制が整っているか● 研究期間中に一定の成果をあげる見込みがあるか |
| ④ 研究経費の妥当性（助成金ありの場合のみ） |
| <ul style="list-style-type: none">● 助成金申請額の算出根拠が適切であるか |

会員の皆様からの応募をお待ちしています。

問い合わせ先

長期滞在型・ロングステイ観光学会事務局 分科会助成金担当

メールアドレス society@asjlt.jp、info@asjlt.jp